

地域が育む「かごしまの教育」県民週間

11月2日（月）～7日（土）は、地域が育む「かごしまの教育」県民週間がありました。11月4日（水）の2校時（9：45～10：30）には、全学級において道徳科の授業を開きました。コロナ禍の中、ご参観いただきありがとうございました。

各学級の授業予定

級名	内容項目（どんな道徳性について学ぶか）	教材名（どんな読み物等をとおして学ぶか）
1年	勤労，公共の精神	120てんのそうじ
2年	家族愛，家庭生活の充実	おばあちゃん お元気ですか？
3年	善悪の判断，自立，自由と責任	たからさがし
4年	友情，信頼	絵はがきと切手
5年	自由と責任	うばわれた自由
6年	自然愛護	緑の闘士—ワングリ・マータイ—

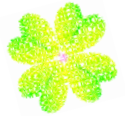
1年生の授業より

<こんな学習をしました>

「おふろばそうじ」という教材を使って、「自分のやるべき勉強やしごとをしっかりと行うこと」についての学習をしました。

<ねらい>

自分のやるべき仕事をしっかりと行ったときの充実感を感じ取り、自分がしなければならない勉強や仕事はしっかりと行おうとする態度



《子どもの振り返りより》

自分の仕事や勉強を頑張ってやった時の気持ちは？

- ・弟のお世話をしたら、お母さんに褒められてうれしかった。
- ・ろうかの拭き掃除をしていたら、ピカピカになって気持ちがよくなった。
- ・縄跳びの練習をしたら、たくさん跳べるようになって楽しくなった。

教材の内容

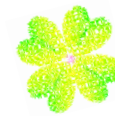
主人公のあきは、はじめはふる場掃除を上手にできなかったが、頑張っけていくうちにだんだんと上手になり、きれいなおふろに気持ちよくなる事ができて家族のみんなから喜ばれている。「寒くなると大変よ。」とお姉さんから心配されるが、お母さんからの励ましや賞賛によって、あきはこれからももっと頑張っけてふる場掃除を続けると宣言する話である。

《学習を終えて、お手伝いをして思ったこと》

- ・お母さんのお手伝いをして台拭きとか、お風呂掃除をして楽しかった。
- ・お手伝いをするのは大変だったけどまたやりたい。
- ・いっぱい掃除をして楽しかった。自分からできた。一生懸命できた。
- ・もっとお手伝いしようと思った。
- ・家族の喜ぶ顔が見られてとてもうれしかった。
- ・落ち葉をほうきで掃く手伝いが一番楽しかった。
- ・手伝いは思ったよりも大変だった。

《お手伝いを終えておうちの方より》

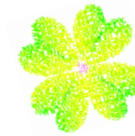
- ・お手伝いをしてもらってとても助かりました。もっといっしょに料理をしておぼえてもらいたいです。ありがとう。
- ・いやな顔をせず楽しそうにお手伝いしてくれたので、一緒にして、私までも楽しくなりました。とても頼りになりました。ありがとう。
- ・土曜日と日曜日は、普段と違った手伝いができ、本人も楽しそうでした。



5年生の授業より

教材の内容

ある国の王子、ジェラルはやりたいことは何でもやる、ほしいものは何でも手に入れる若者である。ある時ジェラルは禁止されている森で銃を放ち、森の番人、ガリュウにとがめられると、王子に逆らったとガリュウを捕えてしまう。数年後ジェラルは王になり、ますます勝手気ままな生活を送り、国は混乱していく。そして、王は裏切りにあい、捕らわれの身となる。牢屋で会ったのは、かつて自分が捕えたガリュウであった。ガリュウは先に牢屋を出ることになったが、「ここから出たら本当の自由を大切に生きていきましょう。」と残して去っていく。



<こんな学習をしました>

「うばわれた自由」という教材を使って、「自由と責任」について学習しました。

<ねらい>

「自由」とは自分のしたいことを自分勝手にすることではなく、みんなが規律を守ることによってそれぞれの「自由」を保障されることに気付き、責任ある行動をとるようになる。



《子どもの振り返りより》

- ・自分だけよいというわけではない。
- ・自由というのは、きまりを守って、その中で生きていくことだと思った。
- ・自由と言われるとうれしいけれど、ジェラル王みたいにきまりを守らなかったら、後で後悔ばかりしてしまうと思った。
- ・自由はうばうものではないと思った。
- ・自由は自由でも制限があり、その制限をこえたら、わがままだと思った。
- ・「自由」と「わがまま」の区別を考えることができた。
- ・自分が思っていたより「自由」って、すごく深いと思った。

《学習を通して～本当の自由とは》

- ・きまりを守った上で行動しないと行けない。
- ・きまりを守ってこそ国があるから、一人一人が考えて行動しないと行けない。
- ・ジェラル王は、牢屋に入れられて、不自由になって、初めて自由ということ考えたと思う。
- ・好き勝手するのではない。法りつに従って正しく生きる。
- ・わがままでもない、自分勝手でもない。
- ・国のみんなが楽しく過ごせていると自由な国になる。
- ・たとえ王でも国のルールは守らないといけない。